



自民党 衆議院議員

月刊 さいとう健



9月号

平成25年9月5日発行

「猛暑を振り返り
地球温暖化問題を考える」

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に outward)などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。

平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。

現在、環境大臣政務官として除染やCO₂削減問題に奮闘中。

〔趣味〕 ハンドボール、カラオケ、読書、映画

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

今年の猛暑と異常な雨の降り方で、改めて地球温暖化について深刻に感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

さいとう健は、前政権下における野党時代も自民党の環境部会長として、また現在も環境大臣政務官として、この地球温暖化問題に取り組んでおります。

今回の月刊では、暑かった夏を振り返りながら、この地球温暖化問題について皆さんが考える際のポイントについてお話したいと思います。

まず第一は、温暖化の原因と言われるCO₂について、実は、地球が吸収できるCO₂などの温室効果ガスの二倍以上のCO₂等が人類の活動によって排出されているということです。2000年から2005年にかけてみてみますと、植物などが自然界で吸収しているCO₂等が年間31億トンなのに対して、人類の活動によって排出されているCO₂等は世界全体で72億トンにも及びます。

従って第二のポイントは、これまでの度重なる世界全体での削減努力にもかかわらず、CO₂の濃度は上昇を続けているということ。今年5月には、CO₂濃度の測定に向いていて定点観測を続けているハワイのマウナロア観測所で、観測史上初めてCO₂濃度が400ppmを超えました。

と言うことは、人類が排出するCO₂等を半減すれば、CO₂の濃度は安定するわけですが、問題はどの時点で安定化させるかということです。世界の研究者の研究によりますと、2050年までにCO₂濃度が安定すれば、産業革命以前に比べて地球全体の気温の上昇は2℃以内に抑えることができるということです。今、世界各国はこの共通認識の下でCO₂削減努力を行なっています。これが三つ目のポイントです。

一言付け加えますと、この2050年50%削減目標は、2007年5月に当時の安倍総理が提案し世界の共通認識となったものです。あまり知られていませんが。

(裏面へ続く)



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざを突き合わせて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。ぜひ企画して呼びいただければ幸いです。

では、実際の削減はどの程度進んでいるのか。これが四つ目。

残念ながら、現状は悲惨です。むしろ世界のCO₂排出量は増加の一途をたどっています。特に、途上国の経済成長によるものが大きい。例えば、中国。1990年時点での中国のCO₂排出量は世界の10%でしたが、今や中国一国で世界のCO₂の22%以上を排出しています。ちなみに、日本は3%です。

もっと言えば、2000年から2010年にかけて世界のCO₂の排出量は世界全体で95億トン増えていますが、なんとその6割は中国の排出増によるものです。

世界でCO₂の排出削減をするためには、ここをどうするか。残念ながら、現在の中国の排出削減目標は、CO₂の排出量を減らすというのではなくて、増えるペースを押さえましょうという程度のものでしかない。

世界の現実、2050年半減目標には程遠い現状にあり、COPと呼ばれる国際交渉の現状も実に厳しい。

わが国としては、世界に約束した京都議定書によるCO₂削減目標は、おそらく達成可能でしょう。しかし、2020年に向けてどういう目標を作るか、現在政府部内で議論が行なわれていますが、原発の稼働が見通せない状況での目標作りは難航しております。

さいとう健は、環境大臣政務官として、この作業に深く関わっておりますが、原発の事故があっても日本はCO₂削減に一生懸命取り組んでいるという姿を作り上げるとともに、日本の技術力によって途上国をはじめとして世界のCO₂の排出削減に貢献していくという姿になるように力を尽くしていく所存です。

平成25年9月5日

環境大臣政務官 衆議院議員 さいとう 健

〈さいとう健の写真活動報告〉



温暖化防止に効果のあるゴーヤカーテンの見学会にて挨拶。身近にできることから始めましょう。



ママさんたちと一緒に子育てについて話し合いました。子どもにも知られていて嬉しいです。



アブダビにて小池百合子元環境大臣とともに、UAEの大臣と意見交換。



流山花火大会の点火式に参加。流山市側だけで、市の人口に近い14万人が来場しました。

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱりこの男に!